

令和7年度八溝山周辺地域定住自立圏共生ビジョン懇談会会議録

開催日時	令和7年10月3日（金）午後1時30分から午後3時00分まで
開催場所	大田原市役所 南別館2階会議室
出席者	<p>○委員13名 【大田原市】平久江委員（会長）、山口委員、井上委員、 【那須塩原市】山口委員、村山委員 【那須町】秋元委員 【那珂川町】矢内委員、磯委員 【棚倉町】高田委員、松崎委員 【埴町】金澤委員、佐藤委員 【大子町】二方委員</p> <p>○オブザーバー（連携市町の担当者）6名 ○オブザーバー（大田原市各部長等）5名 ○事務局4名</p>

1 開会

2 あいさつ（大田原市長）

○要旨

- 八溝山周辺地域定住自立圏は、「地方圏でも安心して暮らせる地域にしたい。」という想いのもと、平成23年から研究、協議を重ね、平成26年1月に全国初となる3県にまたがる定住自立圏域として形成され、構成市町である2市6町が一つの圏域として、医療、福祉、教育、産業等の共通課題に連携して取り組むことで、地域を活性化させ、交流人口を増やし、少子高齢化、人口減少という大きな課題を乗り越えようと、様々な事業を展開してきた。
- これらの取組は、「生活機能の強化」、「結びつきやネットワークの強化」、「圏域マネジメント能力の強化」という3つの視点に基づき、「共生ビジョン」という形でとりまとめ、令和6年度から令和10年度までを計画期間とした「第3次八溝山周辺地域定住自立圏共生ビジョン」に基づき事業を実施している。
- 「共生ビジョン懇談会」は、委員の皆様には、共生ビジョンに基づき実施している事業の実施状況をご確認いただき、ご意見やご助言をいただくほか、定住自立圏域における共通課題等に対するご提言をいただく場として設置する会議となる。
- 本日の会議では、令和7年度の連携事業の実施状況についてご報告を申し上げるとともに、事業の実施状況を踏まえた共生ビジョンの変更についてご協議いただく。委員の皆様には、それぞれの地域の代表として、また、専門的な立場での見識に基づいたご意見、ご助言等をいただき、事業に反映させていきたいと考えているため、忌憚のないご発言をお願いしたい。

3 自己紹介

- 各委員の自己紹介及びオブザーバーの紹介

【那須赤十字病院の井上院長よりドクターヘリの最近の動向について報告】

- 2機目のドクターヘリ構想を自分の代で進めていきたいと考えている。
- 2機目のドクターヘリ構想に関し、自分が初めて話を聞いた段階では、栃木県が消極的で、福島県が積極的であると聞いていた。その理由として、福島県白河市選出の元衆議院議員の上杉謙太郎氏が自身のホームページに那須赤十字病院を基地としたドクターヘリ構想を公約として掲載していた。
- 獨協医科大学の1機目のドクターヘリ構想に尽力したのが、壬生町選出の佐藤勉衆議院議員で、ドクターヘリ運航15周年記念式典のあいさつで「栃木県に2機目が欲しい」との発言があった。
- 衆議院議員の築議員と共に2週間前に福島県を訪問し、佐藤副知事と面会。福島県からは「双葉町で多目的医療用ヘリの運行を開始したので。ドクターヘリは足りている。栃木県が導入するのであれば協力する。」との話しであった。
- 令和7年9月29日に築議員と共に、栃木県を訪問し福田知事と面会。「費用面で問題がある。」との話しであった。また、知事からは2機目のドクターヘリの配備に関して「現場から声をあげてほしい。関連する地域の首長が集まって、この件を協議してもらいたい。」とのことであった。

4 議事

(1) 八溝山周辺地域定住自立圏共生ビジョンの概要について

○資料1に基づき、定住自立圏及び共生ビジョンの概要について説明

- 意見等

	意見なし
--	------

(2) 令和7年度八溝山周辺地域定住自立圏連携事業の実施状況について

○資料2から資料4及び共生ビジョンに基づき、連携事業の実施状況について説明
(説明要旨)

【資料2についての説明】

- 資料2は令和7年度の連携事業を一覧にしたもので事業を細かく分けると47事業になる。連携市町から負担金をいただいて実施する負担金事業を中心に説明させていただく。

【資料3についての説明】

- 資料3は、負担金事業を中心に連携事業の一部を抜粋し、その実施状況を説明する資料となっている。令和7年度の実施内容を昨年度の実績と共に説明させていただく(資料3の内容を説明)。

【資料4についての説明】

- 資料4は令和7年度の実施事業のうち、会議やイベント等を一覧にしたものになり、現在の進捗状況を記載している。
- 今後も定住自立圏の結びつきを維持し、より強めていくと共に、感染症等による社会情勢の変化やデジタル化の流れを的確に捉え、事業の評価、分析を行いながら、圏域内発展のため、事業を推進していく。

●意見等

委員	資料2のNo.11 小中学校デジタル環境整備事業、No.35 歴史・芸術・文化企画展の開催等(ハーモニーホール)の大田原市の事業費が多いのはなぜか。
事務局	No.11 について、今年度小中学校で使用している ICT 端末の更新のため、購入費用を計上したため事業費が大きくなっている。また、No.35 については例年と同水準の事業費であり、ハーモニーホールの運営に関わる事業費である。

(3) 八溝山周辺地域定住自立圏共生ビジョンの変更について

○共生ビジョンに基づき、共生ビジョンの変更点について説明

(説明要旨)

- 共生ビジョンは毎年度、所要の見直しを行うこととされている。今年度の変更点4点について説明させていただく。
- 1点目は、共生ビジョンの3つの視点のうち「圏域マネジメント能力の強化」を「資源制約に対応するための圏域マネジメント等」に表記を変更した。
- 2点目は、事業費見込額の追加で、令和7年度の事業見込額を追記した。また、48ページのインフラ整備に関する要望活動に本定住自立圏の取組により国の広域道路計画に構想路線が記載され要望活動が実施されている旨を明記した。
- 3点目は、共生ビジョン66ページに、令和7年度の会議及び共生ビジョンの変更予定を記載した。
- 4点目は、共生ビジョン69ページの委員名簿を更新した。

●意見等

委員	共生ビジョン39ページの現状と課題について、近年被害が報告されているアナグマ、アライグマやクマといった有害鳥獣の記載がされていない。現状に合った記載に変更したほうが良いのではないか。
事務局	記載内容について、部会にてあらためて検討させていただきます。
委員	共生ビジョン44ページの消費生活センターの共同利用について、那珂川町でのPRが不足していると感じる。

オブザーバー	消費生活センターについては、広報なかがわで年に数回掲載しPRをするとともに、窓口等で周知を行っている。引き続き町民にPRをしていきたいと 思います。
--------	---

(4) 意見交換

●意見等

委員	那珂川町ではクマは出ていないが、被害や目撃情報が出ている市町の方から対策や状況について情報をお聞きしたい。
委員	常陸太田市との市町境でドライブレコーダーにクマが映っておりました。目撃情報があった地域には熊鈴を配布し、お子さんの通学時には役場職員が通学の見送りを行った。
委員	埼玉地区のそば屋のところで襲われたのがニュースになった。その際は埼玉小学校が下校時刻を早めた。猟友会で罾を仕掛けているが、クマがかかったという報告はない。動物を食べるようになると危険だと猟友会の方から伺っている。
オブザーバー	夏に大田原市の市街地の紫塚にて、1名の方から目撃情報があった。9月に入り郊外の親園地区で目撃情報があった。また、佐久山地区は矢板市と隣接しており、矢板市もクマが出没する地域であるということで、クマの足跡らしきものを見つけました。最近では、湯津上地区で1名の方から、暗がりでの目撃情報がありました。本市では目撃情報があった近隣の小学校において、しばらくの間、保護者が付き添い送り迎えを実施した。

6 その他

【事務局からの連絡事項（今後のスケジュールについて）】

- 今年度の八溝山周辺地域定住自立圏共生ビジョン懇談会は、本日の会議をもって終了となる。
- 本日いただいたご意見、ご提案は、10月15日開催の連絡調整会議及び11月開催の推進協議会に報告し、今後の事業推進の検討に活用させていただくことになる。
- 共生ビジョンは、推進協議会の承認をもって正式に変更となる。変更となった共生ビジョンを委員宛てに送付させていただくので、内容のご確認をお願いしたい。
- 年明けの3月に次期委員の選出があるが、各市町の担当者からご連絡があった際は、引き続きご協力いただきたい。

7 閉会

以上